

## 春季フォーラムを開催

TKC中部会 県信用保証協と協定も

税理士らで構成するTKC中部会は4日、名古屋市中村区の名鉄ニユーグランドホテルで「春季フォーラム2017」を開催した。会員や行政、金融機関など



フォーラム前に愛知県信用保証協会と覚書を締結した(右がTKC中部会の杉山会長と愛知県信用保証協会の小川理事長)

から約350人が参加した。

春季フォーラムの開催は6年ぶり。金融庁が事業性評価やフィンテックなどを金融行政方針として掲げたことから、TKC全国会とTKCは昨年「TKCモニタリング情報サービス」を提供。フォーラムを通じて、サービス内容の周知を図った。

「TKC金融機関向けフィンテックサービスの効

用」をテーマにTKC取締役専務執行役員の飯塚真規氏が講演。「今後、経理の自動化が進む。会計に付加価値を付けなければ生き残れない」と強調した。

なお、フォーラム開催前にTKC中部会は、中小企業の経営支援について愛知県信用保証協会と協力協定を締結。同協会の小川悦雄理事長は「中小企業ファーストで税理士の先生と協力していきたい」、TKC中部会の杉山美智晴会長は「中小企業が健全に発展するように力を合わせていきたい」とそれぞれ意気込みを語った。